

対象生態系面積の算定方法に関する資料

1. 作業手順

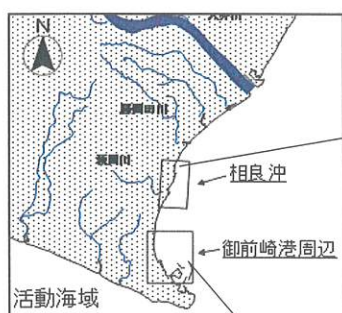
①モニタリング範囲を設定

(相良沖海域：5箇所、御前崎港周辺海域：3箇所)

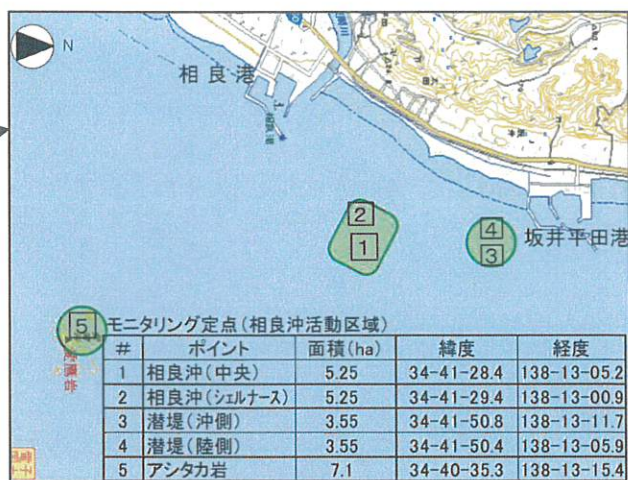
②潜水目視によって被度・海藻の高さを観測

(各モニタリング範囲で9月～2月に年間1～6回実施)

③各モニタリング範囲の面積に、年間を通して得られた平均被度を乗じて藻場面積を算出



活動海域位置図



相良沖海域位置図



御前崎港周辺海域位置図

※モニタリング面積根拠

①②相良沖：350m×300m=10.5ha (中央 5.25ha, シェルナース 5.25ha)

③④潜堤：半径 150m×150m×3.14=7.1ha (沖側 3.55ha, 陸側 3.55ha)

⑤アシタカ岩：半径 150m×150m×3.14=7.1ha

⑥⑦落居前：500m×100m=5.0ha (北側 2.5ha, 南側 2.5ha)

⑧西防波堤：200m×50m=1.0ha

(別添 1)

2. 対象生態系面積の算定

面積の算定結果を以下に示す。

なお、調査定点数は各モニタリング範囲において1箇所のみであるが、調査時にモニタリング範囲内の被度を目視観察し、モニタリング範囲内の被度が大きく変化しないことを確認しているため、一定の代表性は確保されていると判断した。

①相良沖海域におけるカジメ藻場 14.56ha

定点番号	モニタリング面積 (ha)	平均被度 (%)	主な海藻種	被度面積 (ha)	海藻高さ	モニタリング実施日/被度						
						9/1	11/29	1/28	1/31	2/2	2/4	2/26
1 相良沖 (中央)	5.25	50%	カジメ	2.625	70cm	50%						
2 相良沖 (シェルナース)	5.25	30%	カジメ	1.575	70cm	30%						
3 潜堤 (沖側)	3.55	40%	カジメ	1.420	70cm	50%		30%				
4 潜堤 (陸側)	3.55	86%	カジメ	3.053	70cm	60%				100%	100%	
5 アシタカ岩	7.1	83%	カジメ	5.893	70cm	70%	90%	70%	90%	90%	90%	

モニタリング結果

合計 14.56 ha

モニタリング調査の状況

1 相良沖 (中央)	2 相良沖 (シェルナース)	3 潜堤 (沖側)
		
4 潜堤 (陸側)	5 アシタカ岩	
		

(別添 1)

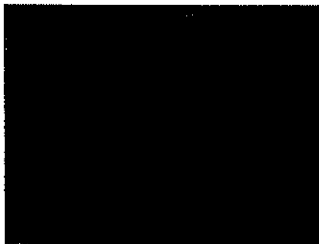
②御前崎港周辺海域におけるカジメ藻場 3.12ha

モニタリング結果

定点番号	モニタリング面積 (ha)	平均被度 (%)	主な海藻種	被度面積 (ha)	海藻高さ	モニタリング実施日/被度						
						9/1	11/29	1/28	1/31	2/2	2/4	2/26
6 落居前 (北側)	2.5	55%	カジメ	1.375	70cm	70%	40%					
7 落居前 (南側)	2.5	50%	カジメ	1.250	60cm	50%						
8 西防波堤 (北側)	1	50%	カジメ	0.500	30cm	50%						

合計 3.12 ha

モニタリング調査の状況

6 落居前 (北側)	7 落居前 (南側)	8 西防波堤 (北側)
		

合計面積 ①14.56ha+②3.12ha=17.68ha